



本巣市 議会だより

contents

令和7年第6回定例会開かれる	……P. 2
討論、審議結果	……P. 3
委員会活動	……P. 4
13人が一般質問に立つ	……P. 6
議員活動日誌、議員研修	……P.11
特集	……P.12



©Aoi K

今号の表紙は根尾出身の画家
「あおい けい」さんが淡墨桜を描いた作品です



本巣市議会だよりは議会ホームページ
からご覧いただけます。



行政情報アプリ「マチイロ」
スマホやタブレットにアプリで
議会だよりをお届けします。



令和7年第6回定例会開かれる

11月20日～12月17日、令和7年第6回定例会を開き、
補正予算7件、条例関係9件、その他3件について審議・決定しました。

◎令和7年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算(第4号)……………1億5,747万円を増額し、今年度総額212億1,560万円

主な歳入

●国庫負担金

◇障がい者就労支援サービスなどの利用者の増に伴う負担金の増額……………2,113万円

●寄附金

◇魅力あるふるさとづくり事業等に対する寄附による企業版ふるさと納税寄附金の増額……………240万円

●市債

◇岐阜市消防本部のIP通信関係備品購入事業に対する増額……………370万円

主な歳出

●総務費

◇新たな地場産品創出等推進事業補助金の増額……………1億1,006万円

●民生費

◇障がい者就労支援サービスなどの利用者の増に伴う介護・訓練等給付費の増額……………4,225万円

●農林水産業費

◇谷汲山大橋舗装工事に伴う負担金の増額……………103万円

○一般会計補正予算(第5号)……………5,600万円を増額し、今年度総額212億7,160万円

◇**人事院勧告**に伴う職員給与等の増額



「人事院勧告」は、国家公務員の給与や勤務時間などの勤務条件について、人事院が国会と内閣に提案するものだも。民間企業の状況を調べて、公務員の待遇が民間とズレないように毎年行われるも。公務員の働き方を決める上で、とっても重要な基準なんだも！

◎令和7年度特別会計補正予算

○本業市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 事業勘定で97万円を増額し、今年度総額33億6,381万円
施設勘定で479万円を増額し、今年度総額1億8,479万円

◎令和7年度事業会計補正予算

○本業市水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入及び支出で増減なし
資本的収入及び支出で168万円を減額し、今年度総額7億2,283万円

○本業市下水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入及び支出で増減なし
資本的収入及び支出で56万円を減額し、今年度総額5億1,680万円

○本業市水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出で増減なし

○本業市下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出で増減なし

◎その他の議案

○市道路線の認定について

○専決処分の報告について(標識折損事故に係る損害賠償)

○専決処分の報告について(公用車の事故に係る損害賠償)

「議案第69号 本巣市一般会計補正予算（第4号）」の討論内容

一般会計補正予算に対して行われた討論の一部をご紹介します

反対



委員会などにおいて、質問や提言をしてきたこと（真桑小グラウンド整備）が今回の補正予算の中には、組み込まれてないので、反対とします。

賛成



真桑小の運動場に関しては、今後予算組みされることを期待しますが、今回の補正予算については、事業に対して適正な予算がついていると判断し、賛成します。

※討論・採決の結果、この議案は可決となりました。

議案および審議結果

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除席等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

令和7年第6回定例会																			
議員名(議席番号順)			付託委員会		議決結果		坂下 裕久	堀田 靖則	翠 昭博	高橋 知司	瀬川 照子	飯尾 龍也	片岡 孝一	高橋 時男	澤村 均	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩規	河村 志信
議員名(議席番号順)			付託委員会		議決結果		坂下 裕久	堀田 靖則	翠 昭博	高橋 知司	瀬川 照子	飯尾 龍也	片岡 孝一	高橋 時男	澤村 均	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩規	河村 志信
議案番号・議案名等			付託委員会		議決結果		坂下 裕久	堀田 靖則	翠 昭博	高橋 知司	瀬川 照子	飯尾 龍也	片岡 孝一	高橋 時男	澤村 均	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩規	河村 志信
出市議長提案	議案第69号	令和7年度本巣市一般会計補正予算(第4号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○

令和7年第6回定例会 (全会一致で可決・認定された議案)				
議案番号	議案名	付託委員会	議案の概要	
議案第60号	本巣市印鑑条例の一部を改正する条例について		上位法の改正に伴い、引用する条文を整理するため改正するもの。	
議案第61号	本巣市老人福祉センター及び糸貫老人福祉センターの廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について	文	老朽化に伴い本巣老人福祉センターと糸貫老人福祉センターを廃止するため、関係条例を改正するもの。	
議案第62号	糸貫公民館の移転に伴う関係条例の整理に関する条例について	文	糸貫めぐもりの里へ糸貫公民館を移転するため、関係条例を改正するもの。	
議案第63号	本巣市介護保険居宅サービス事業及び居宅介護支援事業条例の一部を改正する条例について	文	議案第61号及び議案第62号の条例改正に伴い、介護保険居宅サービス事業及び居宅介護支援事業の実施者を、施設の指定管理者から委託事業の受託事業者へ改めるもの。	
議案第64号	本巣市富有柿の里条例の一部を改正する条例について	総	富有柿の里ふれあいセンターの使用料の見直しを行うため、改正するもの。	
議案第65号	本巣市根尾林業センター条例を廃止する条例について		老朽化に伴い根尾林業センターを廃止するため改正するもの。	
議案第66号	本巣市火入れに関する条例の一部を改正する条例について		気象庁の用語変更に伴い、条文中の用語を変更するため改正するもの。	
議案第67号	本巣市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について	総	災害その他非常時に、他の市町村長が指定した事業者などが工事を実施できるようにするため改正するもの。	
議案第68号	市道路線の認定について	総	県からの管理移管により、一般県道屋井黒野線の一部を市道として認定するもの。	
議案第70号	令和7年度本巣市水道事業会計補正予算(第1号)について	予		
議案第71号	令和7年度本巣市下水道事業会計補正予算(第1号)について	予		
議案第72号	人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例について		国家公務員の給与の引上げ等を求めた令和7年8月の人事院勧告に伴い、関係条例を改正するもの。	
議案第73号	令和7年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について			
議案第74号	令和7年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について			
議案第75号	令和7年度本巣市水道事業会計補正予算(第2号)について			
議案第76号	令和7年度本巣市下水道事業会計補正予算(第2号)について			

付託委員会欄の「総」は総務建設委員会、「文」は文教福祉委員会、「予」は予算決算委員会への付託を表します。

本巣市公式
マスコットキャラクター
もとまる



議会開会のお知らせ

◆令和8年2月18日(水) (予定)

定例会の詳細確定後ホームページに掲載します。議会のホームページは左からアクセスできます。

● 委員会活動 ●

予算決算委員会 ※議長を除く15名

主な質疑の内容

○令和7年度本巣市一般会計補正予算(第4号)について

Q:ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングの進捗状況は

A:寄附目標額1億3,570万円に対して、12月10日時点で191.4%の2億6,329万円集まっています。

Q:寄附が目標額以上に集まっている理由について、見立てはあるか

A:中間事業者に委託していますが、プロモーションがうまくいっていると考えてます。

Q:谷汲山大橋の補修工事は、急に悪くなって補正予算で出てきたのか

A:舗装劣化は以前から見られてましたが、より顕著になったため揖斐川町から要望が出されました。

Q:補修工事の入札はどこが行うのか

A:実施主体は揖斐川町で、すでに入札を実施しています。

Q:介護訓練等給付費の利用者増加人数は

A:令和6年度から比較してグループホームで8人、就労継続支援B型で9人増加しています。

Q:放課後等デイサービスの利用者の状況は

A:令和6年度が118人、令和7年度が137人となっていて19人の増です。

Q:公民館費の中で施設作業員報酬が計上されているが、作業内容は

A:館内や外回りなど施設の清掃をしてもらってます。

Q:教育費の会計年度任用職員管理費の増額は、最低賃金の上昇によるものか

A:10月1日で採用した職員の賃金に関わるものです。

○令和7年度本巣市水道事業会計補正予算(第1号)について

Q:利率見直してどの程度利率が変わったか

A:利率は0.002%から1.1%に変更されました。

Q:利率が変更となることで、公債費についての今後の方針は

A:利率の上昇により今後、償還金額は増加傾向にあります。起債の残高が大きいこともあり、可能な限り起債借り入れを継続して抑制していきたいと考えてます。

総務建設委員会 ◎澤村 ○片岡 白井 鰐本 今枝 飯尾 翠 堀田

現地視察

○市道路線の認定箇所

主な質疑の内容

○本巣市富有柿の里条例の一部を改正する条例について

◇議案概要:社会情勢の変化に伴い、富有柿の里ふれあいセンターの使用料を見直すもの

Q:公平性の観点から、申請があったものについて受け付けられるか

A:公平性のためには、公募を行っていくことも検討したいと考えます。

Q:建物の名義は誰か

A:市の費用で建築したもので、市の所管です。



▲富有柿の里ふれあいセンター

○本巢市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について

◇議案概要：災害など非常時に他市町村の指定業者が工事を行えるよう条例改正するもの

Q：通常時は地元業者に不利益がないと解釈してよいか

A：非常時に市長が認めた場合に限り、他市町村で指定された業者にも工事させることができるものです。

○市道路線の認定について

◇議案概要：一般県道屋井黒野線を県からの管理移管により、市道認定するもの

Q：長良系貫線の施工予定は

A：県からは具体的なスケジュールを示すことが難しいと聞いてますが、市では早急な施工を要望してます。

Q：国や県で舗装修繕は行われるか

A：県が市へ引き渡すまでに修繕する予定で進めてます。



▲市道路線の認定箇所を視察する議員

文教福祉委員会

◎河村 ○高橋(知) 大西 高田 高橋(勇) 高橋(時) 瀬川 坂下

主な質疑の内容

○本巢老人福祉センター及び系貫老人福祉センターの廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について

◇議案概要：老朽化により2施設を廃止するもの(令和8年3月末予定)

Q：本巢老人福祉センターの建物の計画は

A：今後検討し対応を考えます。

Q：真正老人福祉センターの栄養指導室、生活相談室、浴場が利用できなくなる経緯は

A：栄養指導室と生活相談室は社会福祉協議会の事務室として使用します。浴場は本巢老人福祉センターの施設廃止に併せて入浴事業を廃止するためです。

Q：併設の就労支援センターはたが移転ではなく廃止となる理由は

A：建物自体を廃止するためですが、市内の就労支援センター「杉の子」と「みつば」の定員に余裕があるので、移っていただきます。

Q：本巢老人福祉センターの駐車場は閉鎖するか

A：コーンを置くなどして、立ち入り禁止などの意思表示をします。

○系貫公民館の移転に伴う関係条例の整理に関する条例について

◇議案概要：系貫ぬくもりの里に系貫公民館を移転(令和8年4月予定)するため、改正を行うもの

Q：利用時間を延長する理由は

A：他の公民館の閉館時間と合わせるためです。

Q：移転に伴ってぬくもりの里の用途変更は不要か

A：建築基準法上、北側については多目的に使える施設で問題ないことを確認してます。南側については児童福祉施設で制限はありますが、目的が合えば使えます。

Q：利用団体の活動場所は確保できるか

A：使用状況を踏まえて調整を図り、他の公共施設等も活用しながら活動を行っていきたいと考えます。

Q：指定管理料はどの程度削減できるのか

A：維持管理にかかる部分は変わらず、社会福祉協議会の人件費の部分程度だと思います。

重要な変更だも



●一般質問●

今定例会では13人の議員から一般質問がされました。
一般質問を行った議員と、その質問内容は以下のとおりです。

一般質問

質問順番	議員氏名	質問内容
1	坂下 裕久	<u>本巣市における熊を含む危険鳥獣対策について</u>
2	堀田 靖則	<u>企業誘致に向けた新たな取り組みについて</u>
3	翠 昭博	<u>次期都市計画マスタープランについて</u> <u>歩道整備計画と生活道路の安全確保について</u> 市施設の有効活用について 自治会を活用し地域の思いを掘り起こすについて
4	高橋 知子	<u>性教育について</u> <u>投票率について</u> <u>産前・産後サポート事業について</u>
5	飯尾 龍也	<u>企業誘致について</u> 学校と家庭のあり方について 幼稚園の室内環境について
6	片岡 孝一	<u>地域主体のまちづくりの取り組みについて</u> <u>安全で住みやすいまちづくりについて</u> 住民主体型訓練の導入・推進について <u>常日頃から防災意識を身に付けるようにするための本市の取り組みについて</u>
7	高橋 時男	<u>リチウム蓄電池等の適正処理について</u> <u>公共施設の利用料金の適正化について</u>
8	澤村 均	<u>水路の安全対策と責任について</u> <u>下水道事業の健全化について</u> <u>タクシーチケットの助成制度について</u>
9	高橋 勇樹	<u>史跡船来山古墳群整備構想について</u>
10	高田 浩視	<u>人材確保に係る商工事業者への支援について</u> <u>介護提供の現状について</u> <u>行政財政改革大綱の進捗について</u>
11	河村 志信	<u>本巣市の地域間問題について</u> 本市の公共交通について 市議会議員選挙を振り返って 市内の雑草問題について
12	鏑本 規之	<u>旧根尾村と根尾診療所の医師との覚書について</u> <u>真桑小学校における保護者説明会の開催について</u>
13	臼井 悦子	<u>市民主体のイベントのあり方について</u> <u>読書の推進について</u>

※太字・下線の項目は、各議員の一般質問記事にて掲載のある項目です。

Q&A 0月定例会 13人が一般質問に立つ

二次元コードから
動画が見れるも!



坂下裕久

Q 本県市における熊を含む危険鳥獣対策について

鳥獣害対策を求められる地域は、同時に過疎化・高齢化の問題を抱える自治会が多く、行政の寄り添った対応が必要です。また、本市で緊急銃猟を行える猟師の数は5名であり、深刻な猟師不足のなか、ガバメントハンターの育成なども含め、様々な考慮をしていく必要があると考えます。

農作物の被害にとどまらず、普段の生活に不安が入り込み、安心して過ごせない状況が生まれつつあります。鳥獣害を寄せ付けないゾーニングと、緊急銃猟の準備を整えながら、追い払いや罠の設置による捕獲など、状況に応じた柔軟な対応を求めます。

Q1 岐阜県里山林整備事業のバッファゾーンの自治会ごとの利用状況は

A1 令和6年度は利用がなく、令和7年度は法林寺自治会が2.7haを実施しました

瀬川・産業経済部長

Q2 同事業の自治会への周知の状況は

A2 特に市から自治会への周知は行っておりません

Q3 今年度の本市の熊の捕獲頭数は

A3 目撃27件、捕獲頭数9頭です

Q4 緊急銃猟における市の考えは

A4 緊急銃猟に必要な業務を円滑に進めるため、対応マニュアルの整備を進めています



堀田靖則

Q 企業誘致に向けた新たな取り組みについて

若者は学校を卒業すると県外に移住する傾向にあり、人口減少の要因の一つになってます。地元で職場を求める声がありますがそれに応えるだけの就職環境がありません。一方本県ICが完成し、企業誘致環境は飛躍的に向上しています。また屋井の工業団地は既に埋まっています。

Q1 進出を検討している企業情報はありますか

A1 直近3年間で38件の問い合わせがあり、その内7件の工事が進んでいます

瀬川・産業経済部長

Q2 HPで情報発信する以外に今後どのような取り組みをしていくか

A2 電源地域振興センターに企業誘致支援業務を委託しています

Q3 工業団地を整備する計画はあるか

A3 工業団地を整備する計画はなく、オーダーメイド型企業誘致を推進しています

Q4 HPに掲載のエリアより北側まで誘致エリアを広げることができるか

A4 本県トンネル以北は企業ニーズが少ないが、希望があれば誘致活動を進めます

Q5 本県市の立地条件の優位性は何か

A5 企業ニーズに合った産業用地が提供でき、オーダーメイド型の支援ができます

藤原・市長



翠 昭博

Q 次期都市計画マスタープランについて

東海環状自動車道に本県ICが誕生し新たなまちづくりに向けてスタートを切るため。

Q1 本県市の新しい顔セントラルゾーンは

A1 市役所や本県PA周辺の人口重心付近から本県IC付近の主要幹線道路結節点エリア

藤原・市長

都市計画マスタープランと、立地適性化計画の二つの計画を連携させて、セントラルゾーンに機能を集約するだけでなく、既存の生活拠点を活かした多極ネットワーク型の都市構造の実現を目指します。

Q2 第3次本県市道路網整備計画の将来幹線道路網は

A2 将来都市交通の課題解決と都市計画マスタープランも踏まえ令和5年に策定

高橋・都市建設部長

整備すべき道路網を評価し、優先順位の高いものから短期・中期・長期整備区間に位置づけ順次整備をしています。

Q 歩道整備計画と生活道路の安全確保

交通量が増える現道路に、歩道を計画的に整備し市民の安全安心確保に繋げるため。

Q1 現在と将来の歩道整備状況と計画は

A1 歩道整備計画は歩道に限った計画は策定してません

高橋・都市建設部長

Q2 通学路の通過車両の速度を抑制する取り組みは

A2 通学路注意の路面標示やゾーン30エリア

一般質問



高橋知子

性教育について

Q1 専門家の巡回やオンライン授業など特別な支援を増やす考えは

A1 包括的性教育などの先進的な取り組みを市内全体に広げていきます

川治・教育長

Q2 保護者や地域住民に伝えていくことは

A2 授業参観などを通して保護者・地域も性教育を共に学ぶ機会をつくっていきます

投票率について

9月の市議会議員選挙では、投票率向上のために選挙公報の発行など今までにない取り組みを多数行ったにもかかわらず、49%と過去最低の結果となりました。

Q1 子連れ投票を積極的に推進するなど今後の改善策はあるか

A1 子ども同伴の投票の啓発に努めます

村澤・総務部長

Q2 投票インセンティブを考へては

A2 選挙管理委員会が主導的に行うことは適切ではありません

産前・産後サポート事業について

Q1 出生数と産後ケアの実施件数は

A1 令和6年の出生数151人、昨年度96件実施

林・健康福祉部長

Q2 料金や申込方法は負担のない仕組みか

A2 非課税世帯は全額、それ以外は9割助成

特定の医療機関と契約しないことで、どこでも利用できます。対象者には丁寧な説明をし、負担にならないよう心がけます。



飯尾龍也

企業誘致について

Q1 現在進行中の企業数と問い合わせ状況は

A1 オーダーメイド型の工場用地の造成を行っている企業数は3社です

瀬川・産業経済部長

温井地区は、アピ株式会社で約2.9ha、浅木地区は、一丸ファルコス株式会社で約3.4ha、北屋井地区は、新日本金属工業株式会社で約1.9haの造成工事を行っています。この他に、民間企業の自社開発による工場建設予定企業数は5社で3.5haの面積です。問い合わせ件数は、令和5年度に9件、令和6年度に18件、令和7年11月末で11件です。

Q2 今後の機動的な対応や民間との連携はあるか

A2 関係機関との調整や助言、事前相談を含むワンストップサポートを実施します

本市への進出を希望される企業の要望を踏まえ、企業用地の取得から造成工事までを市が一括して行う「オーダーメイド型」の事業手法のほか、企業から依頼を受けた不動産業者などからの問い合わせに対応しています。市の企業誘致に関する情報共有を積極的に行うことで、民間との連携強化につなげていきます。

※他にも「ラーケーション制度導入」「幼児園室内音反響対策（保育室内の残響時間）」などを質問しました。

用語解説

① 子どもが学校を休んで、家族と一緒に校外学習や体験を行うことも出席扱いとする制度で、「ラーニング（学び）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。



片岡孝一

地域主体のまちづくりの取り組みについて

本巣市の明るい未来を築くために。

Q1 地域コミュニティの弱体化について、本市の地域に対する支援体制とその対策は

A1 自治会のコミュニティ活動・市政への協力活動等に自治会活動事業補助金を交付

村澤・総務部長

安全で住みやすいまちづくりについて

家族や地域が助け合って、幸せな家族環境を作るために。

Q1 多様な家族形態に合わせた本市の支援は

A1 本巣市三世代同居・近居住宅支援補助金交付事業を実施します

林・健康福祉部長

家族間の支え合いにより、子育て支援や介護支援における生活の質を向上させることを目的とし、三世代同居または直線距離2km以内の近居となる場合、住宅取得費用または住宅改修工事の費用の一部を補助します。

常日頃から防災意識を身に付けるようにするための本市の取り組みについて

ひとりでも多くの命を大切にするために。

Q1 新たに立ち上がったキッズ防災リーダーの取り組みと今後の展望は

A1 ホープ防災リーダーからの学びを活かし、避難所開設訓練を主体的に行っています

川治・教育長

日常的な減災・防災に向けて、中心的な存在として活動し始めました。

●一般質問●



高橋時男
(本巢自由の会)

① リチウム蓄電池等の適正処理について

Q1 本市のリチウム蓄電池、リチウム蓄電池使用製品などの回収の現状、体制は
A1 主に市内3か所のストックヤードで拠点回収を行っています

青木・水道環境部長

リチウム蓄電池は、乾電池やボタン電池と一緒に無料で回収し、リチウム蓄電池使用製品は、不燃物粗大ごみとして有料で回収しています。

② 公共施設の利用料金の適正化について

Q1 会議室や体育館、グラウンドなどの施設利用状況は
A1 市内団体の利用割合が8割を超えている施設が全体の約7割を占めています

高木・教育委員会事務局長

Q2 過去の公共施設の利用料金の改定時期および変更内容は
A2 利用料金の改定は、平成22年4月1日、令和元年10月1日の2回行っています

村澤・総務部長

1回目は原価算定方式によるコストの算定を行い、行政負担と利用者負担の割合を設定したうえで、それに応じた利用料金に改正し、2回目は消費税増税分を反映させた改定を行いました。

Q3 利用料金改定の基準、根拠は

A3 使用料の設定は、原価算定方式により施設にかかるコストを算定し決定しています



澤村 均
(日本共産党)

④ 水路の安全対策と責任について

Q1 本市の土地改良事業の数は。水路管理者は県、市、土地改良組合以外にあるか
A1 4つの土地改良区があり、それ以外の水路の管理は市です

瀬川・産業経済部長

Q2 市内の水路の（排水路含む）危険箇所と、安全柵の設置責任の所在は
A2 道路管理者の責任において設置するケースが多いのが実情です

高橋・都市建設部長

A3 Q3 通学路の危険箇所対策は
毎年、すべての通学路の安全点検を実施しています

高木・教育委員会事務局長

⑤ 下水道事業の健全化について

Q1 補助金を出し、個別の合併浄化槽に切り替えては
A1 個別浄化槽への切り替えに向けて取り組んでいます

藤原・市長

日当浄化センターについては、調査を開始していますが、国の支援が必要です。

⑥ タクシーチケット助成制度について

Q1 医療機関に使用を限定したタクシーチケット助成制度を新設できないか
A1 新たに医療機関に使用を限定するという特定の人を対象にした制度は考えてません

藤原・市長



高橋勇樹

⑦ 史跡船来山古墳群整備構想について

船来山古墳群整備基本計画の概要版には、本史跡の価値を将来にわたって保存管理しつつ、「景観的にも重要な価値がある自然環境の一体的な保全」や「地域の参画に基づく持続的な維持管理・運営」を図るという基本方針が示されています。しかし、現状、船来山周辺地域では、鹿などの獣害の深刻化、住民要望の高い荒廃竹林の問題、ホタル生息地を含む環境保全の取り組み強化といった、地域課題が山積しています。これらの課題を古墳群整備の機会と捉え、文化財保全と地域課題の解決を両立させ、未来へ持続可能な地域資源とするため、本市の見解と具体的な取り組みを問います。

Q1 物価・人件費の高騰による整備スケジュールへの影響は

A1 計画どおりに整備を進めることが難しい状態です

高木・教育委員会事務局長

Q2 公園マネジメントを行うための組織の設置の考えは

A2 現時点では具体的な検討はしてません

「船来山古墳公園マネジメント会議」のような外部を含めた新しい組織の設置については、関係者の意見も踏まえて、今後の検討課題として整理します。

※他にも「荒廃竹林の整備と獣害対策との連携体制は」「ホタル生息地としての環境保全計画は」などを質問しました。

一般質問



高田浩規
(本巣自由の会)

◎人材確保に係る商工事業者支援について

Q1 小規模事業者の現状把握は

A1 令和6年度アンケート結果では人材不足で困っている事業者は約4割です

瀬川・産業経済部長

Q2 小規模事業者の人手不足が進むと考えるが支援の必要は

A2 商工会や西美濃創生広域連携事業と連携し、新たな支援事業の検討を進めます

◎介護提供の現状について

Q1 サービスの需要の現状と今後の予想は

A1 高齢者の増加に加え、要介護者数も増加する状況です

林・健康福祉部長

Q2 訪問介護の増加に対応できるか

A2 対応しきれないとは聞いてませんが、安定した提供体制の確保が必要と考えます

◎行政財政改革大綱の進捗について

Q1 計画の進捗は

A1 令和6年度末時点で進捗率は約85%です

林・企画部長

Q2 令和8年度の取り組みは

A2 生成AIの無料トライアルも実施し、新たな技術の導入可能性を模索します

職員のデジタル知識・技能向上を目的とした定期的な研修を実施し、組織全体のデジタル対応力強化に努めます。

Q3 外部への委託を見直す必要はないか

A3 多くの自治体で民間委託からDXや業務プロセス改革へと方向転換が進んでいます



河村志信

◎本巣市の地域間問題について

南北に43kmと細長い地形において、面積は北部エリアの山間部は85%、南部エリアの平野部は15%ですが、約3万3千人の人口の85%は南部エリアに集中しています。

Q1 人口減少という社会問題に対する対応策は

A1 地域の持続的な発展を図るため、計画的かつ総合的に様々な課題に対応しています

林・企画部長

特に懸念されている6つの課題について

①「公共交通機関の維持」樽見鉄道や岐阜バスへの支援を継続していきます。

②「人口減での学校教育の問題」遠隔地へのスクールバスの運行を継続し、安心して通学できる環境整備に努めます。

③「公共施設の維持管理」利用者の減少と維持費の増加に対し、公共施設等総合管理計画や再配置計画に基づき、最適化と複合化を推進します。

④「医療体制の課題」必要な医療サービスを提供できるよう、隣接する市町との連携を強化していきます。

⑤「空き家対策について」解体費用の助成を行い、活用可能な空き家は空き家バンク制度を活用し、移住促進へもつなげてます。

⑥「耕作放棄地対策」農地中間管理機構の活用促進や新規就農者への支援強化を進めることで、地域農業の維持発展に努めます。



鰐本規之

◎旧根尾村と根尾診療所の医師との覚書について

財政の豊かな旧根尾村で、入院施設を伴った病院が設立された時代に締結された雇用に関する覚書が、現在に至るまで見直されず、議会にも提示されない理由はなぜか。また、医師との契約の今後のあり方をどう考えているか。

A 覚書は地方自治法施行令の規定で、本巣市に継承されたものと考えます

加納・市民部長

覚書は個人の様々な条件が記載されており、個人情報保護の観点から提示を控えているところ。今後の契約は、専門家に意見を伺い、医師と協議したいと考えます。

◎真桑小学校の保護者説明会について

本市議員による児童へのハラスメント事案があったにもかかわらず、保護者説明会が開催されなかった。そこには学校による隠ぺいや、議員に対する付度があつたのではと考えるが、なぜ説明会を開催しなかったのか、また今後の対策は。

A 「隠さない」「誠実に向き合う」姿勢で、説明責任を果たしていきます

川治・教育長

児童や保護者のプライバシーや心理的不安を考慮し、説明会は不要とした校長の判断は、教育委員会も適切だったと考えます。今後は見守り活動における子どもとの関わり方の基礎・基本を再度徹底します。

●一般質問●



臼井悦子

Q 市民主体のイベントのあり方について

令和7年度から、市が主催のイベントを市民が主体で開催されました。

A1 Q1市が助成した市民主体のイベントは

A1 選考の結果、根尾・本巣・真正地域の3つのイベントを対象に決定しました

林・企画部長

A2 Q2市の対応策は

A2 各団体150万円を上限に補助金を交付しました

その他、施設利用の減免やテントなどの貸し出しを行い、広報活動にも努めました。

A3 Q3今後の市の協力体制は

A3 財政的な支援や多面的な協力体制の構築など、支援のあり方について検討します

藤原・市長

Q 読書の推進について

A1 Q1市の図書館利用状況について

A1 令和6年度は5万5571人の利用者で、コロナ発生前の約77%まで回復しています

高木・教育委員会事務局長

A2 Q2利用者への推進について

A2 市内どの図書館施設にも返せるようにして、利用者の利便性向上を検討します

A3 Q3今後の対策について

A3 館内施設や読みたい本、移動図書館などの要望についてアンケートを実施します



議員活動日誌

日	に	ち	場	所	会	議	名	等
11月4日(火)			本巣市役所		本巣市功労者・善行者表彰式			
11月7日(金)			旧真正分庁舎		もとす広域連合議会(閉会)			
11月10日(月)			習志野豊花ゼミ		中濃十市議会議長会議員研修会			
11月12日(水)			本巣市役所		議会運営委員会			
11月20日(木)			本巣市役所		全員協議会			
11月27日(木)			本巣市役所		本会議(開会)			
12月8日(月)			本巣市役所		議会運営委員会			
12月9日(火)			本巣市役所		本会議(一般質問)			
12月11日(木)			本巣市役所		本会議(一般質問)			
12月12日(金)			本巣市役所		総務建設委員会・予算決算委員会			
12月16日(火)			本巣市役所		文教福祉委員会・予算決算委員会			
12月17日(水)			本巣市役所		議会運営委員会			
12月22日(月)			旧真正分庁舎		全員協議会			
12月23日(火)			本巣市役所		本会議(閉会)			
1月7日(水)			本巣市役所		議会だより編集特別委員会			
1月15日(木)			本巣市役所		議会だより編集特別委員会			
1月27日(火)			旧真正分庁舎		もとす広域連合 議会運営委員会			
1月28日(水)			関市わくさプラザ		第295回岐阜県市議会議長会			

●議員研修●

●令和8年1月13日・14日 令和7年度市町村議会議員研修「第2回 防災と議員の役割」

片岡 孝一

●令和8年1月19日・20日 令和7年度第3回市長村長等・議会議員特別セミナー

片岡 孝一

あなたの声で、もっと議会を身近に!

本巣市議会では、市民の皆さまに議会の活動や、市政の動きを分かりやすくお伝えするため、議会だよりを年4回発行してます。議員がどんな議論をしてるのか、皆さまの大切な税金が、どのように使われてるのかなど、暮らしに直結する情報をお届けしてますが、「もっとこんな情報を知りたい」「ここが分かりにくい」といったご意見はございませんか?

議会だよりが本当に役立つ、読んで楽しい広報誌であるために、皆さまからのご意見・ご感想が何よりも大切です。

議会だよりへの意見を募集します!

右の二次元コードからアンケートへのご協力をお願いします。



●アンケートの内容は?

アンケートは「Logoフォーム」を活用して、スマートフォンなどから回答できます。

アンケート項目は、議会だよりの読みやすさや追加してほしい記事についてなど、全部で8項目で1分～5分程度で完了する簡単なものです。

●あなたの「知りたいこと」教えてください!

アンケートの中では、特集記事の感想や特集してほしい内容についてもお聞きしてます。議会や市役所のことなど知りたいことがあればどんどん教えてください。あなたの「知りたいこと」は、みんなの「知りたいこと」かもしれません。



▲実際のアンケート画面

ちなみに...

過去にはこんなことを特集してます!

- ・88号「あなたのまちを動かす力～市議会と議員の仕事を知ろう～」
- ・86号「大人に知ってほしい『本巣市こどもの権利条例』」

●本巣市議会だよりは皆さまの声で「進化」します!

皆さまからの貴重なご意見が、本巣市議会と市民の皆さまとをつなぐ『議会だより』を、より良いものへと変えていきます。ぜひこの機会に、皆さまの声をお聞かせください。



議会だより
編集特別委員会

◎高橋知子 ○高橋勇樹 瀬川照司
翠 昭博 坂下裕久

